

瀧定名古屋株式会社 名古屋市中区

【贈呈理由】蓄熱槽の継続利用と空気熱源ヒートポンプチラーの導入により、省エネ・省コストを実現



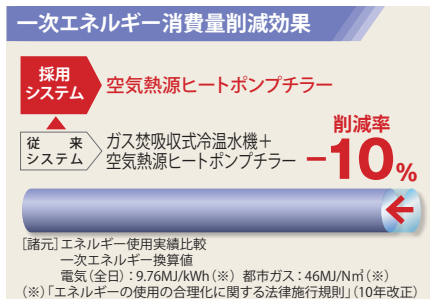
瀧定名古屋本社ビル



熱交換器



冷水ポンプ



空気熱源ヒートポンプチラー

瀧定名古屋株式会社は1864年に創業し、事業の柱として、テキスタイルとアパレル製品を扱う繊維専門商社である。同社の本社機能を有する本建物は、名古屋を東西に貫くメインストリートの錦通りに面し、1991年に竣工した地上17階、地下3階のオフィスビルである。建物の前面には公開空地を設け、ビジネス街のオアシス的存在として、93年に「愛知まちなみ建築賞」と「名古屋市都市景観賞」をダブル受賞して

いる。近年は、空調設備の更新など快適なオフィス環境維持のために積極的に投資をしている。

シンプルな設備構成と効率的な運転監視

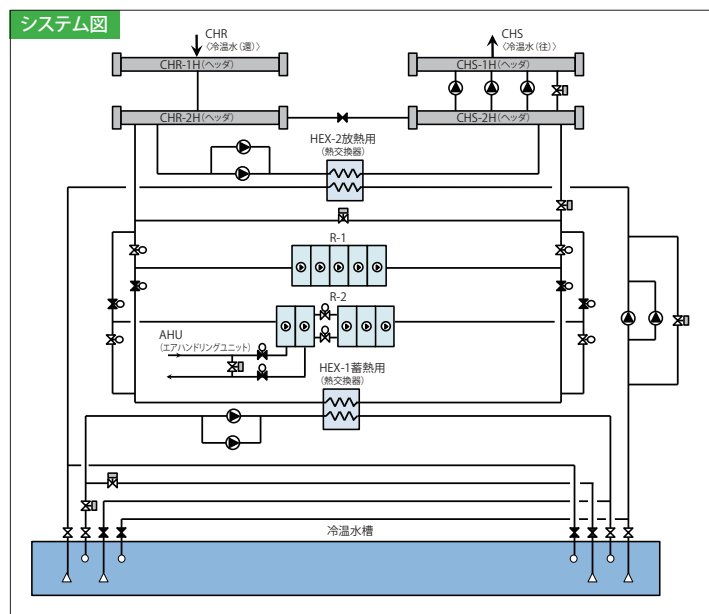
空調設備の改修は、省エネ性・環境性・負荷追従性を考慮し、モジュールタイプの空気熱源ヒートポンプチラー(725kW×2台)を採用した。既設の蓄熱槽を最大限活用できるよう、どちらのユニットからも蓄熱

源ヒートポンプチラーの負荷熱量や機器効率、蓄熱槽からの放熱熱量などが確認できるように、運転監視機能が向上した。

さらなる省エネ改善に向けた運用面の最適化

2013年度末に空調熱源の更新が完了し、14年度における建物全体の一次エネルギー使用量は、設備更新前の12年度に対し10%削減した。また、最大電力も同様に、更新前後の比較で7%削減している。

14年夏の運転実績を見える化し、熱源設備の運転状況を確認したところ、最大電力のさらなる抑制が図れる要素を確認できたため、今後はさらに、熱源運転制御のチューニングをすすめ、地球環境負荷の低減に向けて取り組んでいく。



運転、追い掛け運転が行える系統構成とし、シンプルな設備構成とともに信頼性を確保した。運用面においても、設備の最適化がすすめられるように、エネルギー使用量の大きい熱源設備について、計測ポイントの充実を図った。空気熱

瀧定名古屋本社ビル

所在地: 名古屋市中区錦2-13-19
蓄熱設備設計: (株)竹中工務店
蓄熱設備施工: (株)竹中工務店
延床面積: 28,350m²
竣工: 2014年(更新)

■蓄熱設備概要

水蓄熱式空調システム
熱源機: 空気熱源ヒートポンプチラー 725kW×2台
[東芝キャリア]
蓄熱槽: 970m³(冷水水槽)